学校番号	3009

令和８年度　工業科（工学系）

教科	学 ガイダンス	科目	(学)高大連携Ⅲ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１、２年次における大学見学やオープンスクールへの参加をさらに拡大充実させ、自己の目標発見や自ら考えその実現を図る態度と能力を育てる。具体的には大学へ入学できる学力を養いながら、大学の研究室への訪問や学生とのディスカッションなどを行い、大学生として求められる能力・知識を認識させる。

2　学習の到達目標

大学についてこれまでの知識の習得を通して大学進学の意義について深く理解し、自己の目標を確立させる。さらに進学後に備えて基礎学力を十分に向上させる。大学進学後の専門的な知識と技術の深化・総合化を図るとともに、問題解決に向けて意欲的に取り組む能力を育て技術者として自らの専門知識が社会に与える影響を意識して行動できる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自分の学力について考え、大学進学に必要な学力の向上を図る。 あらゆる機会を通じて進学後に活躍できる学力の向上に努める。	大学進学後の目標設定と自分自身の将来について考えられる。	１、２年次における大学見学やオープンスクールへの参加をさらに拡大充実させ、自己の目標発見や自ら考えその実現を図る態度と能力を育てる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	自己実現	1 入試を研究する 2 学力の充実　① 3 入試を研究する オープンキャンパス 4 学力の充実　② 5 大学との合同研究 進学セミナーへの参加 6 学力の充実　③ 7 大学との合同研究 8 学力の充実　④	a: 大学における工業の意義や役割を理解している。また、自分なりの意見や考察ができる。 b: 目的を理解し、達成するために、適切な手段を講じ、解決をめざし、自ら考え、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。また、結果をまとめ、その成果を的確に表現できる。 c: 目的を設定し、計画的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通じ、技術・知識に関する探究的・創造的な能力を養おうとしている。	学習状況の観察 レポート 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 レポート 自己評価・相互評価　等	授業中の発表 レポート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度